

令和5年12月1日

別府大学 学生の皆様へ

別府大学

学長 友永 植

学生代表との点検・評価会議及び授業改善を図るための会議を終えて(ご報告)

別府大学における3ポリシー(卒業の認定に関する方針(DP)、教育課程の編成及び実施に関する方針(CP)及び入学者の受入れに関する方針(AP)を踏まえた取組に関し、その適切性について学生の代表の皆様から意見をいただき、教員との意見交換を下記の通り実施しました。

また、その後、引き続き、授業改善に役立てるため、学生の代表の皆様(前述と同じ学生)から意見をいただき、教員等との意見交換を実施しましたので、主な意見及び改善に向けての取組を報告します。

なお、今後とも学生の皆様から意見をいただき、授業改善等に取り組んで参りますので、協力方よろしくお願い致します。

記

1. 学生の代表者との点検・評価会議

日時 令和5年9月21日(木) 15時~16時

場所 1号館 21・22 教室

2. 学生代表者との授業改善を図るためのFD

日時 令和5年9月21日(木)16時~17時

場所 1号館 21・22 教室

3. 学生出席者

11名(氏名は、省略)※欠席1名

4. 教職員出席者

学長、学長補佐(教務担当・学生担当・就職担当・入試担当)、学部長(文学部長・食物栄養科学部長・国際経営学部長)、大学事務局長、短大事務局長、学生事務部長、学生事務次長、事務局職員(4名) 計16名

以上

令和 5 年度学生との点検・評価会議及び
授業改善を図るための学生参画会議における
「主な意見と大学の対応」

令和 5 年 9 月 21 日実施

	学生の要望・意見	大学の対応
1	南門駐輪場付近で喫煙をしている学生がいる。受動喫煙も気になるので学内に喫煙所を設置してほしい。	学生委員会等で検討いたしますが、巡回をして指導していきたいと思います。喫煙所に関しては学内で検討を図りたいと思います。
2	34 号館の机が固定椅子になっているが、車椅子の学生もいるので前の座席を外してほしい。	34 号館の固定いすについて、過去に解体することを検討したが、予算的にできませんでした。再度検討していきたいです。
3	図書館の入り口にスロープを付けてほしい。	車椅子が登れるようなコンコースは急斜面となるために図書館と 2 号館の間を通過することになっています。しかし冬場は室外機があり凍結することもありますのでそこについては管理課に相談をして改めたいです。
4	35 号館にエレベーターを付けてほしい。	管理課に何か方法があるか相談をします。
5	Wi-Fi が止まったり、遅くなったりする。	メディアセンターを中心に対応を図ってきたいです。
6	エレベーターの速度が遅く、混雑する。	各棟のエレベーターについては管理課に何か方法がないか相談したいと思います。
7	食物、発酵側にも駐輪場がほしい。	駐輪場を設ける場所はありますが、入口の問題があります。速やかに検討を進めたいです。
8	他の棟から 1 号館事務局に行くとき、雨の日は濡れてしまう。また、掲示板前に学生が多いと軒下を通り 1 号館に行くことが出来ないため、対策をしてほしい。	1 号館前は消防車や救急車の緊急車両が入ることも想定しているため難しいですが、そのような意見があったことを今後検討していきたいと思います。
9	飲食可能で 1 人で静かに学習できるブースがほしい。	そのような学習ブースを設置できるか検討いたします。
10	図書館の閉館時間を延ばしてほしい。	図書館の閉館時間について働き方改革というのが進んでいて職員の労働時間の兼ね合いがあります。その辺をどうするかが問題となるので考えたいです。

11	蔵書数が少なく、大学内だけではカバーできない。ジャパンレッジにアクセス制限があり閲覧できない時がある。	蔵書については、大学にない場合、教員にお願いして購入してもらうようにしてください。ジャパンレッジのアクセスについては、無制限で使用できるように工夫したいです。
12	ラーニングコモンズについて使用する際に教員の同伴が必要である。学生のみで使用できると活動の幅が広がるので許可してほしい。	ラーニングコモンズについては教員同伴ではなく使用可能となっています。ワロンルームの使用については新型コロナウイルスが 5 類になってからは学生のみで使用可能です。
13	ラーニングコモンズで会話をして良いのかわからないので、はっきりさせてほしい。	会話をしていただいても問題ありませんが、騒がないようにしてください。
14	夏場にエアコンが 1~2 時間で勝手に切れる。エアコンが切れていることに教員が気づかないこともあるので、周知してほしい。	消し忘れを防ぐため定期的に切れるように設定をしています。切れた場合は再度電源を入れていただければ付くようになっています。教員への周知は何らかの形で行います。
15	スポーツ振興会とサークルの関係性がうまくいっていない。教職員の方に手を差し伸べてほしい。	スポーツ振興会との連携についてコロナの間にサークルが停滞していたというのが大きな原因だと思います。早く前の状況に戻しているような形で支援できればと思います。
16	サークル活動の申請書類について、不備があった場合再提出が必要となる。図書館も電子化が進んでいるので書類の手続きも web で行えるようにしてほしい。	事務手続きも電子化を進めていきたいと思っています。メリット・デメリットを考えながらこれから進めていきたいと思っています。
17	moodle での授業で使用する資料を moodle 上に載せてほしい。	moodle に掲載できない理由として、権利関係で載せられない画像があります。できる限りという方向で検討を進めていきたいです。
18	復習について教員から指示があると授業に挑みやすい。できるだけ講義外でやることを提示してほしい。	moodle を活用して提示することを検討して周知します。
19	同じ 90 分の授業の中で、大事なことを簡潔にまとめて早く終わる先生と、同じことを何度も繰り返し言って終わる先生がいる。時間の使い方を工夫してほしい。	90 分の授業の使い方については、自由に意見・要望をアンケートに書いて、先生方に授業改善を図ってもらい、大学側も追跡して検討して行きたいと思っています。

20	講義の中で、もう少し周りの人と話せるような機会を設けてほしい。史財の学生の多くが学芸員を目指しているので、現場に出たときのコミュニケーション能力を身に付けたい。	今、大学改革の中ではコミュニケーションを図る時間を 90 分の枠の中でどのくらい確保しているかということが求められているので、教員・学生の双方からヒアリングをしながら、教務担当学長補佐の指導の下、より良い授業を目指すべきだと考えています。
21	授業評価アンケートのアクセスをもっと簡易化してほしい。	授業評価アンケートやポートフォリオのアクセスのしにくさや、入力途中なのに消えてしまうという件については、システムの入替の際に十分な改善を図りたいと思います。
22	期末テストの範囲が広すぎて厳しすぎるときがある。定期的に小テストを実施するなどして、全体の評価をしてほしいと思う。	期末テストの範囲を moodle に掲示するなど検討します。小テストの実施に関しては全教員が一律に実施することは難しいかもしれないが、今回意見があったことを教員に周知し検討していきます。
23	高い教科書を購入したが、授業の中で 1 回しか使わなかったことがあったので、購入するならできるだけ使用してほしい。	個々の授業の格差や多様性があるのだと思うが、思い当たる先生は直すよう周知します。
24	非常勤の先生は moodle を使っていないので、大学側がもっと先生の授業内容を把握したうえで配布資料を提供した方がいいのではないかと思う。	非常勤の先生方も moodle は使えるはずなので、活用するよう周知します。
25	アンケートを誰がどう答えたか教員に知られていることがあるので、こういう意見があったことだけを反映してもらえれば正直に評価できるのではないかと思う。	授業評価アンケートについては誰がどのように回答したかという情報は教員に伝わっておりません。
26	科目によってはレポート提出で最終評価をすることもあるので、知識を身に付けるという意味でも、小テストや期末試験を実施する科目を増やしてほしい。	小テストの実施については、教員に意見があったことを周知します。
27	もう少し難易度やレベル、尺度を話し合っそろえてほしいと思う。	シラバスに評価の基準を明記しています。期末試験、課題、レポートの取り組み、授業の取り組み姿勢など、基本的にはシラバスに基づいて評価をしています。尺度の問題としては、各学科ごとに C 評価の多い科目や A 評価が多い科目があるので、極端にならないように平準化するよう学科ごとに話を進めています。

28	ある授業の先生が所属している学科の学生は AA 評価の人がいたが、国際経営学科の学生には一人も AA 評価の人がいなかったことがあった。その時の学生にもよるのかもしれないが、差別や偏見が先生の中にあるのかなと思った。	学科による差別や誤解を与えるようなことは避けるよう注意喚起します。
29	数理・データサイエンス・AI教育プログラムについて、コア1、コア2、コア3でこれから受講できるということで良いか。	まだ内容は詰め切れていませんが、2 カ年のプログラムで逆算していくと今の 2 年生は確実に全部取っていくことが可能です。ゲームを作るという面白い取り組みも検討しています。
30	MacBook を使用する学生に対する配慮をしてほしい。	配慮するよう検討します。
31	AI 基礎とはどういうことが学べるのか。	データサイエンスになるとビッグデータを扱っていきます。基礎は人工知能の生成系 AI であるとかそれをどう使っていくのか、その背景にあるものは何なのかということを勉強していきます。データエンジニアリングになると史学・文化財学科はどれも関係してくるという状況です。今は AI が文学を作ったり作品を作ったりする時代になっていてこういうものをどう使っていくかということを含めて授業を受けてほしいと思います。
32	この場に留学生がいると、もっと違った視点で意見が聞けると思う。	留学生については改めて実施するよう検討します。
33	試験時に足の間でスマホを触っていた。異変に気付いてから試験に集中できなくなってしまったので試験前にスマホを回収するか、スマホで簡単に調べられないような問題を出題してほしい。	検討して改善します。
34	実験や実習、資格関係の授業が教職課程の授業が重複していて、その授業を欠席したことによって成績に大きく影響してしまうことや、どっちを優先するべきなのか、また次に履修するとき重複したらと不安になることだったので、重複しないように配慮してほしい。次の世代にこういうことが起きないようにするためにも授業評価アンケートに履修関連の項目を入れてほしい。	授業の重複が起きないように配慮はしています。今後も授業数の見直しも含めて改善を進めていきます。ただ、急なスケジュール変更による場合は非常に難しい問題ではあるが、極力重複しないよう配慮します。

35	大学の無料駐車場はどこにあるのか教えてほしい。	自動車での通学は原則認めていませんが、公共交通機関を利用しても大学に通うことが不便である学生に対しては、申請をして許可がおりればサークルハウスに駐車することができます。申請は2年生以上でなければなりません。
36	グラウンドを学生も使える駐車場として使えないのか。	グラウンドは授業やサークル活動で使用するための場所となっています。学内行事や学外行事の際に駐車場として使用する場合がありますが、申請・承認が必要である臨時駐車場として使用しています。また、使用者には使用后、グラウンドとして使用ができるよう整備を行うよう依頼しています。グラウンドはグラウンドとしての機能を果たす場所なので、駐車場として開放する予定はありません。また、本学では原則自動車通学を認めていません。事情があり自動車通学を余儀なくされる場合のみ認められます。使用できる駐車場としてサークルハウスがありますが、駐車台数に限りがあります。毎年12月～1月頃にかけて申請受付をしていますので、期間中にサークルハウス駐車場使用許可申請を行ってください。
37	スポーツ推薦の学生は口頭試問や学力審査はしていないのか。していないのであれば実施してほしい。	面接の内容は学科によって異なるが、学力を問うような内容も含めて行っているので指定校推薦とほぼ同等の内容で実施しています。
38	「別府大学 教育に関する3つのポリシー」についてもっと認知を広めた方が良いのではないのか。	入学前教育から、初年次や2年生の演習の時間などを活用して学生の皆さんへ伝わるよう検討を進めていきます。
39	史学・文化財1,2年で全体が参加するような規模の研修を実施してほしい。	史学・文化財学科ではゼミや研究会活動など文学部の他学科に比べ、より1年～4年生、さらには大学院生までが繋がる学習機会を提供しています。1,2年生全体の研修となると人的にも非常に大きな規模となり必要性も含めて検討が必要と考えます。
40	表現力に関して、実際に言葉にして表現できる人やマナーが良い人が意外と少ない印象(特に外部の方などに関わる際に)。そのような部分を身に着けるためにも実行力にて計画	現在、大学全学で様々な課題解決型授業(PBL)やフィールドワーク、外部講師の授業への導入などの機会を提供するよう働きかけています。情報提供などを検討し、より学生の

	を立て実行し、外に出てさまざまな人と関わることを重要視してほしい。	皆さんが参加しやすい方法を検討していきたいと考えます。
41	「教養」「専門力」「汎用力」を身につければ、「独立した主体的な人間となる」という目標は達成できるのか疑問である。	非常によい疑問だと受け止めます。「独立した主体的な人間」という定義自体もさらに検討していく必要があるように考えますが、現時点では「教養」、「専門力」、「汎用力」は少なからず、社会において自立していくうえで重要な要素であることは間違いではないように考えています。学生の皆さんに単純にポリシーとして提供するだけでなく、それぞれがしっかりと意味を考えていけるように、検討が必要と認識しました。
42	人間関係学科におけるカリキュラムポリシーに関して、「本学の建学の精神、教育方針等を学び、学生の学習意欲を高めるため、1年次に科目区分『基礎ゼミ』を置き…」とあるが、実際にはほぼ内容のない活動が多かった記憶がある。	人間関係学科に限らず別府大学ではすべての学科において「導入演習」、「基礎ゼミ」を実施し、大学での学修の円滑な導入を図るべく実施してきましたが、近年、様々な要素が鶴生かさされ全体としての方向性や、担当する先生により意味づけが不明確になるような状況が、このような印象へ繋がったかもしれません。今後は教員FDなどを通じて、より明確に学生の皆さんへ説明可能なものへ作っていくよう改善を検討します。
43	「国際理解のための外国語の基本的なリテラシーを身につける」とあり、実際英語等の講義はあるが、身につけているかが不安である。	身につけるためには、継続して勉強をつづけることが重要です。そのための科目としてTOEICのための科目や英語5・6、ステップアップ演習などいくつかの選択科目を設けています。これらの科目を履修して学習を継続するとともに、個人でも資格試験を積極的に受験し、それに向けて勉強することで力をつけていくことができます。履歴書に書いて役に立つレベルとしては、英検であれば2級以上、TOEICであれば600点以上になるでしょう。1年生の時に全員CASECを受験していると思いますが、CASECの結果にはTOEICや英検のおよその目安が示されていますので現在の自分の英語力の確認に役立ててください。また、たとえこの点数に達することができなくても、その間の努力は実力として身に着き、自信となります。不安を持っているのであれば、まずは目標を掲げて取り組んでみてください。

44	3つのポリシーの教養力、教養科目など教養に関わる部分で、食物栄養学科は国際理解のための外国語が少し弱いと思う。	英語科目については、研究論文を読解するためにも必要な知識だと考えられるため、2年次開講の総合英語Ⅲ・Ⅳや英語ステップアップ演習Ⅰ・Ⅱまで希望者が学修できるよう配慮しています。第二外国語は、学部の専門性の違いもあり文学部・国際経営学部と異なり、第二外国語コミュニケーションⅠ・Ⅱを設けていませんが、その他の科目については4年次で履修することが可能です。外国語を学修したい場合は、是非それらの機会を利用していただければと思います。
45	体育館の土日利用について現段階では授業、サークル、部活のみでしか使えないので体育館を使用できると体育館の充実につながると思う(保険加入者を対象として)。	体育館に管理者がいないため授業やサークル以外での使用は認めていません。
46	香りの博物館、18号館・33号館博物館の活用についてSNSなどで活発な更新や、学生への使用を呼びかけてはどうか。	大学広報の視点として、大変貴重なご意見と受け止めます。現在香りの博物館は独自のHPやSNSを展開しております。また学内の行事などの案内はHPを中心として情報提供されていますが、ご指摘のように活発な更新ではないかもしれません。またこれらの場所の利用について学生のアイデアを募る機会を検討していければと考えます。
47	各教室に時計を設置してほしい。	今後、検討します。
48	36号館の2階にトイレがあるが、男子トイレの2人分の手洗い場の片方だけ、蛇口から出る水の量が少ない。また、トイレの出入りの際に自動で電気がつくようにしてほしい。	トイレの蛇口については、予算の兼ね合いもありますが修繕できるよう管理課と検討します。電気については、現在、全館でLED化進めています。順次、人感センサーを取り入れていくよう計画を進めているところです。
49	大学からの連絡手段が複数あるので一つに統一してほしい。特にGmail、moodleが主のため、これらを積極的に活用してほしい。発展させて、大学用アプリの開設など検討してほしい。	現在、学生ポータルサイトと掲示板で学生への連絡を行っています。学生ポータルサイトの連絡はGmailにも届くようになっています(設定が必要)。大学用アプリの開設については現状難しいですが、貴重なご意見として承ります。
50	ゆうちょ銀行を設置してほしい。	利用頻度の関係上、現時点で設置は考えておりません。
51	入学後の成績優秀者に対する学費免除等を拡充してほしい(所得等関係なく)。	入学後の成績優秀者には奨学金を交付しています。拡充(所得等による制限)については検討していきます

52	36号館の食堂を利用できる時間を変更してほしい。例えば9:00から自習スペースとして開放してもらえると空き教室がない状態の時に助かる。	36号館の食堂は10時から16時までの解放となっています。16時以降は寮生の食事準備の関係で閉めています。
53	教務課の窓口をテスト前など特に増やしてほしい。	教務課内で窓口体制の工夫を検討します。
54	図書館の管理下が丸善のため融通がききづらい。大学との連携力を上げ対応を幅広くしてほしい。	丸善と大学が連携をとり、スムーズな運営をしたいと考えています。
55	近年の図書館は「図書館+α」といった図書館本来の機能に新たなシステムを上乘せしているため、カフェや会議室などの受け入れをしてほしい。	スペースの問題もあり、設置することはできません。
56	32号館入ってすぐに机などがあり、時には遠隔授業をしている方もいて、あまりにも丸見えなので、仕切りを置くなど工夫をしてほしい。	利用者は周りの目が気になることがあるかもしれませんが、防犯上の観点から視界を確保しておく必要があり、現在のところ仕切りを設置する予定はありません。
57	キャリア支援センターに食物栄養関連の情報が少ないように感じた。分野外だからかもしれないが、可能であれば食物栄養についての就職やインターン情報を増やしてほしい。	キャリア支援センターの求人ファイルには管理栄養士専用のファイルを作成して情報を蓄積しており、即日在学生ポータルにアップロードしていき、決して分野外とは考えていません。また毎年2月の就活準備フェアでは複数の大手給食委託会社が直接大学に出向いて説明会に参加してもらっています。最近は管理栄養士や給食事業に特化したナビサイトが多数あり、ネットで検索するほうが便利になっている側面もありますので、直接のセンター利用とナビサイトを並行して利用してもらえればと思いますし、キャリア支援センターでも今以上の充実した情報を提供できるようにしていきたいと考えています。インターンシップについては、学内の実習が多くあり、別枠でのインターンが必要なのかは学科の先生方と相談していきたいと思っています。
58	すべての講義で数分休憩時間を挟んでほしい。	授業時間数を確保するため、1コマ90分の授業時間は必ず必要となります。ご理解ください。

59	学生が道路に広がって歩くのが危ないし、印象も悪いと思う。	学生指導を行っていますが、引き続き実施をして改善できるようにしていきたいと思います。
60	大学のイベント(石垣祭など)があまり知られておらず、サークルに入っている人だけで盛り上がっている感じがするので大学全体で周知させてもいいのではないか。	体育祭・さつき祭・石垣祭に関しては学内 G メールにて全学生に連絡を行っています。また、ポスターの張り出しや各実行委員が昼休みに中庭にて机出しを行っています。
61	集中講義の連絡が分かりにくかった。	確実に連絡が行き届くよう配慮していますが、わかりやすく伝わるよう再度見直しを図りたいと思います。引き続き、Gmail、学生ポータルサイト、掲示板等で連絡事項の確認をお願いします。
62	授業の公欠について、あからさまに公欠で良いような内容も公欠届を受け取れなかったりするためその部分の理解を求める。	公欠については学生生活に記載のあるように公欠に関する取扱いに則って判断しています。
63	スクリーンが見えにくい。	機械に異常が生じたときには業者に連絡を取り、現状を確認しています。状況に応じて対策を取っていますので学習に支障が出るほど見えにくい等の場合は教務課までお知らせください。対策を検討します。
64	冷水機を設置してほしい。	第一体育館、第二体育館、34号館1階に設置をしていますが、増設等、前向きに検討していきたいと思います。
65	期末試験のテストとテストの間 10 分が短い。	現時点でスケジュールの関係上、10 分以上の時間をとることは難しいです。ご理解ください。
66	学生が利用しやすい銭湯のような浴室が欲しい(プール以外で)。	第二体育館下にある健康センター内に温泉施設がありますが、誰でもできるように開放はしておりません。今後、温泉施設利用希望者が多ければ開放を検討していきたいと思います。
67	グループワークに関しては、恐らく教職員の想定以上に熱意の差が存在する。その中でグループとしての評価をされるとちゃんとしていた人は少なからず不満を持っているのでそこは考えてほしいと思う。	授業の評価は複数の指標を用いています。グループとしても評価しますが、個々人の達成度も何らかの方法を用いて評価し、総合的に成績をつけるなど、配慮しています。

68	就職支援センターに立ち寄りにくさがある。	キャリア支援センターでは様々な求人情報や就活に役立つ講座を企画、構内に掲示し、皆さんがセンターに多数来てもらうための模索を続けています。先生方とも連携しながら気軽に相談に来てもらうよう皆さんをお待ちしていますので、ぜひ一度立ち寄ってください。
69	在学生ポータルとの連絡(キャリアなど)は見に行かないと知らない。	キャリア支援課に関する情報について求人情報やニュースなどをアップしていますが、現在は大事なお知らせは moodle で発信していますので、いわゆる「新着情報」という気づきやすさは不足しているかもしれません。来年度から就職支援に関するシステムを入れ替えてより便利なものとなりますので、改善されると思います。

○その他の要望や意見

- ・アドミッションポリシーにもある、入学者に求める能力・資質として、理科と数学の基礎的な知識・技能を有していないような学生が授業についていけず、騒ぎ出したりして他の学生のやる気を削いでいる。
- ・授業時間内で本物に触れる機会を増やしてほしい。
- ・メディアセンターの具体的な内容を知らない。
- ・各授業でもっと word などパソコンを使う動作に触れる機会があるとありがたい。
- ・TOEIC などをもう少し授業に取り入れてほしい。
- ・事務局の対応の柔軟化。
- ・購買のレジの方雑で怖い。丸善のスペースが狭い。
- ・建物が番号で呼ばれており、番号も連続しているわけではないので入学した当初は困惑した。
- ・冷房が寒すぎる。
- ・学生証の使用機会を増やしてほしい。
- ・食堂に人が多くてなかなか使用できない。
- ・丸善にブラックコーヒー(500ml)を置いてほしい。
- ・人間関係学科では他学年との交流が少ないため、交流する機会が増えたらと思う。
- ・資料の配布をされたのが、9/19 だったので 3 日間くらいしかなく、意見や要望を考える時間がなかった。
- ・学生FDの資料に対して大学側が現在思っていることや課題を載せてほしい。
- ・ある授業の期末テストで私の回答を写させてほしいというお願いをされた。私は断ったが、カンニングが出来る環境でのテスト試験に不満を感じた。特に広い教室での試験でカンニングが容易にされている気がする。(自分の体験もふまえて)